

平成22年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会（平成22年11月11日）要望事項等対応表

平成22年11月11日現在

	意見・要望等	財団の当日の発言
1	<p>①理事・評議員の中に利用者代表が入っているかわからない。選定基準を教えてください。</p> <p>②ホームページ上の理事会, 評議員会議事録に発言者名を公開してほしいと言っているが, 賛同を得られていないのでできないとの回答になっている。いつの会議で議題にしたのか, 賛否はそれぞれ何人なのかがわからない。</p> <p>③議事録を読むと, 出席者に比べ発言者が少ない。座っているだけの理事と評議員は不要である。</p> <p>④次回の理事会, 評議員会の傍聴を希望します。</p>	<p>①公益財団法人への移行における東京都の説明会では, 法人の目的に合った有識者選任が望ましいと示されており, 公募はなじまないと言われています。それを踏まえ, 芸術・文化の振興を図る目的の団体として, その運営にふさわしい方々の選任を進めています。</p> <p>経歴の表示については, 公益財団法人への移行について来年4月を目途としていますが, その切りかえの際に考慮することとし現在作業を進めています。</p> <p>②発言者の氏名についてですが, 平成21年度からホームページ公開し, 情報開示を行いました。平成20年度にこのことについて評議員会, 理事会で検討し, 最終的には平成20年12月26日の理事会で公開することを出席者全員一致で決定しています。ただし, そのときは, それ以前まで行っていた情報公開請求の方法を踏襲する形としましたが, 情報公開請求のときは氏名公開をしていませんでした。会議中でも発言者の氏名を出す出さないという話はありませんでしたが, その当時は非公開という結論を出しています。平成21年度に入ってから, 出席者の氏名は公開する方向で決議を出席者全員一致で行い, 平成22年度からのホームページ公開については出席及び欠席した理事, 監事, 評議員の氏名は表示しています。そういった経過がありました。</p> <p>③発言者が少ないということですが, 議事の内容によって専門分野ではない方の発言は確かに少ない部分があります。しかし議事録にすべて記録できているわけではありませんで, その他いろいろな部分では助言等をいただいています。実際の法人の業務運営上では, 理事や評議員の皆さんには参画していただいていると認識しています。</p> <p>④公益財団法人への移行に関し, いろいろな法人運営面での仕組みを</p>

		<p>変えることとなりますが、評議員会と理事会のやり方も変わる予定です。現在、東京都の指導を受けながら方法等を考えているところです。傍聴については、新法人へ4月移行した際、初回の理事会と評議員会の際に議題にあげて結論を出すことで取り扱っていきたいと思っています。</p>
2	<p>利用者懇談会への出席が増えるよう、財団報「ぱれっと」の利用者懇談会特別号の発行を希望する。</p>	<p>継続的に財団報「ぱれっと」の中で掲載していくようにいたします。</p>
3	<p>設備面の要望がある。</p> <p>①9階研修室でピンマイクが使用できない</p> <p>②折りたたみ式の司会者台を装備してほしい。パソコンを置いてプロジェクターで投影したい。</p> <p>③研修室において、プロジェクターでの投影が、以前は研修室の裏からできたのに現在は前からしかできない。このため、部屋の前の方に座ると投影の邪魔になる。設備を以前のようにしてほしい。天井型はできないのか。</p> <p>④調光設備が10階にもついたが、会議室の前だけしかない。前と後の両方につけてほしい。</p>	<p>①ピンマイクは共用のものがありますので、まず今置いてあるものをしっかり使えるように整備等を行っていきます。</p> <p>②司会者台については、これから調査を行い、導入可能か検討いたします。</p> <p>③9階のプロジェクター投影につきましては、2点の理由があります。1点目は会館全体のスペースの関係で、以前はリア式だったのですが、現在は使用できなくなっています（補足：表側に投影する機器に入れ替えています）。2点目は見やすさの問題を考え、通常タイプのスクリーンに投影するという形をとっています。機材を撤去してしまった関係もあり、昔の状態に戻すのは難しいのですが、明るさの問題等々あると思いますので、少し検証させていただきたいと思います。プロジェクターは館内共用としているため、天井据え置き型という形でひとつの会議室に固定させるのは予算面から厳しいと考えます。</p> <p>④10階の調光設備については、最近になってつけたものですが、前方で講師がお話をしていて、プロジェクター等を使うために明かりを落とす必要があるということで、まずは前につけるという対応をさせていただきました。</p> <p>後方にも設置を希望されるということについて、技術的には可能かと思いますが、前方にも後方にもあると逆にわかりづらいという利用者の声もあったので、一度検証させていただき、次回の際にお答えしたいと思います。</p>

	<p>⑤インターネット上の施設予約システムについて、利用人数別で会議室の空き状況を検索できるものにしてほしい。</p> <p>⑥10年間毎月ここへ来ているが、利用者懇談会のことを今回初めて知った。館内のどこかにポスターを張ってほしい。</p>	<p>⑤施設予約システムについて、人数別で空き状況を見られる機能は現在のところありません。お手数ですがお電話でお問い合わせください。</p> <p>⑥利用者懇談会は6月と11月の年に2回実施していますが、その間の期間は告知ポスターを貼っていないため(直前のみ掲示)、目に留まらなかったのではないかと思います。現在のところはこの形で行っていきます。また、開催時期が近くなると、1階受付で施設をお使いの方が鍵を受け取りに来られた際、ご案内を鍵と一緒にお渡しして、周知を図っています。一層徹底してまいりますので、よろしくお願いいたします。</p>
4	<p>利用者懇談会の開始時間を遅らせてはどうか。18時30分では会社勤めの人には来られない</p>	<p>検討します。</p>
5	<p>たづくりを利用する際、1階と図書館の受付の人が親切であると感じる。自分が住んでいる地域の図書館より対応がよい。</p> <p>会議室の予約がしづらくなってきたが、サークルが増えてきたとのことではないかと思っている。</p>	<p>ありがとうございます。</p>
6	<p>①小ホールの利用時、準備と片付けを利用者が行う範囲がわからない。</p> <p>②パーテーションパネルなど料金表にないものがあるが、料金や組み立てなど取扱いをどう考えればよいかわからないままお願いしている。</p>	<p>①利用のときに必ず舞台技術者が利用者と舞台の打合せをさせていただいています。本来、そのときに必要なものや使用するものについて打合せをして、こちらで準備できるものとできないもののお話をしていますが、その中でいすや机の準備と片付けは、主催者をお願いすることとしています。ただ、当日それが難しい局面があれば、スタッフに声をかけていただければ、可能な範囲でお手伝いするように指示をしています。スタッフが2人程度のため、舞台上の片づけに手を取られるなど、時間帯が合わないときは、お手伝いが難しいこともあるかと思います。</p> <p>②原則、料金表にないものは、無料でお貸しして、主催者の方で組み立てなどをお願いしています。打合せ時にお申し出いただければご用意いたします。</p>
7	<p>①有料の催しで売れ行きが余り芳しくないときに、席を埋めるために無料で入場券を配布しているというのを知って非常に</p>	<p>①ご指摘のありました招待券については、発行の取り扱い基準を設けており、マスコミ関係や当該の有料公演の制作者の方への招待券とい</p>

	<p>驚いた。いつごろからそういう配布をしているのか、これまでの配布の例を知りたい。また、無償配布先を決めるときの決定手順と認可者はだれがやっているのかをご説明いただきたい。</p> <p>②議事録の記述を読み上げる。「以前、チケット販売に苦戦していた時は、学校関係などにご招待を出して、販売枚数とは別に、空席が減るようにしています。実施事業に関しても、直前で売れ残っているような場合には、招待を出さず空席を埋める努力はしています。」</p>	<p>う形では行っています。</p> <p>今お話に出た無償配布の券ですが、一昨年調布音楽祭のときに売れ行きが悪く、券を1枚買っていた方にもう1枚差し上げるといふ形でのPRを100人ほどの方にさせていただき、1割程度、10人の方にこれを行ったという記録はあります。しかし、それ以降は特に無償という形で配付はしていません。</p> <p>②自主事業というものとプロモーターが実際やる共催事業というのがあります。共催事業というのは、当財団は実質館を貸すだけのものであり、あくまでもプロモーターが主体となっています。プロモーターにより無償でチケットを交付するということを積極的にやっているところもありまして、当財団のやり方とは違った形をとっています。当財団の自主事業、私どもが自主的に発券して実施する事業につきましては、今申しあげたように、先ほどの調布音楽祭で一部無償で渡したという事例以外については、無償で招待券を渡すということは一切していません。</p>
8	<p>中央図書館の利用者、11階のみんなの広場の利用者、12階の展望レストラン及び1階の喫茶室の利用者について、どういう認識をもっているのか、文書を持ってきた。本日でなくてもよいので、文書でご回答をいただきたい。</p>	<p>後日文書でご回答いたします。</p>
9	<p>主にスタジオ、第2編集室及び11階のみんなの広場を利用している。</p> <p>このような公共の施設の中で市民が使えるスタジオや映像編集室があるというのはとても素晴らしいことだと思っている。</p> <p>長年の間に、設備の老朽化、撤去及びパソコンのソフトの入れかえなどがあり、その都度どうなるのか心配していたが、どこに相談すればよいのかわからなかった。</p> <p>今回利用者懇談会に参加し、個別の団体からの要望を出せる場所があるということがよくわかった。これはとてもいいこと</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>利用者懇談会は年2回のみとなりますので、そのほかの時期は受付に常時設置しているご意見を入れていただく箱をご利用いただくか、いつでも7階へお越しいただければ、お話を伺います。</p>

	<p>だと思う。</p> <p>本日は見学のつもりで具体的な要望をピックアップしてきてはいないが、次回はこちらの希望を持参したい。</p>	
10	<p>ここ1, 2年ホール系の申込者が非常に多くて、全くとれない。例えば月4回の抽せん申込みをしても1回もとれないなどのようなケースがここ1, 2年ぐらいに非常に増えている。</p> <p>たづくりが駅に非常に近いなどの理由もあるが、他に対応していただきたいケースが2点ある。1点は調布市在住の人の名前を使って団体をつくり、申込みをするケース。もう1点は、プロとして営業しているようなケース。全部が全部そうだとはいわないが、なかなか施設が取れない状況の中、所属している団体での会合をする際、そのような話が非常に出てくる。</p> <p>以上のことに対し、たづくり利用の方向づけをしていただきたい。</p>	<p>たづくりの利用につきましては、市内での登録及び市外での登録の2パターンがあります。さらにその中を団体の利用と個人の利用に分けています。市内の団体の利用については、その団体の所属メンバーの過半数が調布市内在住であること、調布市内で活動している団体であることという条件により利用を受け付けている状況です。</p> <p>多くの団体に抽せんに参加いただいております、むらさきホールのような100%に近い利用率の施設はなかなかとれないという声を多くいただいております。</p> <p>その中で、例えば人の名前を借りて使うというようなことはいわゆる又貸しという言い方になりますが、実際に現場をみつけた場合には嚴重に注意をして、そのような使い方をやめるようお願いをしています。</p> <p>また、先日あるお話をお聞きしました。抽せんについては、1つの施設につき4件まで申し込むことができます。ところが、ある団体を見たら、月に6回も7回も使っていて、これは違うのではないかというお話です。そういったケースが本当に起こっているのかどうか、1つの団体が抽せん6つ7つ当選しているとしたら、うちの方のシステムエラーだということになってしまうので、確認をさせていただきました。その結果、ある団体について、月に6件、7件同じ施設を使っているというケースが見つかりました。申込日を確認したところ、4件までの施設、もしくは3件とか、その部分までは抽せん当選している施設でした。4件を超えてしまった残りの1件とか2件については、抽せんが終わった後の空き施設の申込受付時に予約した施設だということが確認できています。ただ月に4回という抽せんの当選枠に対して6つ、7つ当たっているというケースについては確認ができ</p>

ていませので、そこについては適正にご利用いただいているかと思
います。

ただ、他の方からも例えば個人の名前で幾つかカードを持っていて
使っているのではないかという話をいただくことがあります。重複し
て使用することはやめていただきたいので、私どももその制限に苦慮
しているところです。今後も受付でそのような案内をお渡しするなど、
何らかの形で広報していきたいと思っておりますし、適正でない利用を
実際に確認した場合には、注意をしていきたいと思っております。

基本的にたづくりは、くすのきホールを除いてはいわゆる営業的な
利用というのは一切お断りをしています。会費の徴収を許可している
ということについては、会議室とか諸室で行うものの資料代や実費に
当たる部分についての徴収に限るというものです。それ以外で入場料
をとり、それを収入にするという営利利用はお断りしています。その
ようなケースがあるのを他の方が見つけて、匿名で私どものほうにど
この施設でお金をとってもうけていると言っておられるケースがまれ
にあります。

その場合は、その団体に直接出向き、厳重に注意した上で、場合に
よっては利用を中止していただくようなケースも起こっています。

現在施設を利用するために登録しカードを持っている団体が、
約 5,000 という状況です。その状況の中で30あまりの施設のうち
のご希望の施設を当選させるというのは非常に難しいと思っております。
極力抽せんから支払までの期限を短くすることや、ペナルティーとい
うシステムをつくり1つの団体が一定以上の施設を押さえてキャンセ
ルするということを繰り返さないように、いろいろな方法を取り、極
力すべての方に公平にご利用いただけるように、日々私どもも考えな
がら運営しています。今後もできるだけ多くの方に公平に使っていただ
ける方策を随時検証していきますので、ご意見等々を引き続きいた

	だければと思っっています。よろしくお願いいたします。
--	----------------------------